



生駒市立大瀬中学校

校長室から

平成29年 5月 31日

第 3 号

校長 高島智春

沖縄への修学旅行

3年生の皆さん、3日間の沖縄での修学旅行はどうでしたか。心に残る思い出ができたでしょうか。

つらく悲しい沖縄戦のこと、沖縄のさまざまなものや人との出会いは、きっと心に残っていることでしょう。

平和を願う！

1日目はあいにくの雨天でしたが、予定通り平和学習を行いました。

降りしきる雨の中、「平和祈念公園」での平和セレモニー。靴の中にも雨水が入り、びしょ濡れになりながらも、平和宣言を発表して厳粛なセレモニーを立派にやり遂げられました。バスガイドさんからも「心のこもったとても良いセレモニーでした。」とお誉めの言葉をいただきました。

やるときには全員できちんと最後までやり遂げることができる3年生の皆さんのすばらしい態度を見ることができました。そして、この地に立つと、改めて戦争の悲惨さや平和であることの大切さを感じることができたように思いました。



(ガマの上に立つ石碑)

八重瀬町戦争遺跡公園



(現地ガイドさんによる沖縄戦の説明)

沖縄の自然と文化に触れる！

2日目は天候も回復し沖縄の青い空の下、「マリン体験」と「文化体験」をしました。マリンブルーのサンゴ礁の海で楽しそうな皆さんの表情をたくさん見ることができました。スリルいっぱいのバナナボート、美しい海の中の景色を楽しめるシュノーケリングなど沖縄の海を十分に楽しめたことでしょう。

また、沖縄の食文化と芸能の体験として、サーターアンダギーの手作り体験、さとうきびからの砂糖づくり、三線の演奏をしました。さらにその日の夜には、沖縄の伝統芸能である「エイサー」を鑑賞しました。普段は間近で見ることが少ない「エイサー」の勇壮な踊りと太鼓の音に圧倒され、見る者の心をふるわせるように思いました。沖縄の伝統をより身近に感じることもできた体験でした。



(バナナボート)



(サーターアンダギーづくり)

感謝の心で！

3日間を通して、皆さんは人の話をしっかり聞いてその場その場に応じた行動ができていました。そして、寝食を共にした仲間への心くばりや集団生活に必要な「自律」の大切さも実感できたことでしょう。これらはこれからの生活に生かしてほしいと思います。

最後に、こうして修学旅行を終えることができたのも、多くの方々の支えがあったことを忘れてはなりません。皆さんの家族もそうです。出発日に朝早くから皆さんを送り出し、夜遅く帰宅したときには温かく迎えていただいたことを忘れずに、支えていただいた方々、お世話になった方々への感謝の気持ちをもってほしいと思います。